

特別企画：遊園地・テーマパーク経営企業の実態調査（2014 年）

2014 年の収入高合計は前年比約 1 割増加

～ハウステンボスV字回復鮮明、地域別では「九州」が伸び率トップ～

はじめに

中国をはじめアジア圏のビザ発給要件の緩和や円安などが寄与し、訪日外国人客が増加するなか、(株) ユー・エス・ジェイは「ハリー・ポッター」エリア開業の効果で 14 年度の入場者数が 1270 万人に達し、開業初年度以来 13 年ぶりに過去最高を更新。今年秋に株式の再上場を計画しており、注目を集めている。

経済産業省の特定サービス産業動態統計調査によると、2014 年の遊園地・テーマパークの入場者数は前年比 4.1%増の 7823 万 1106 人となり、2000 年の集計開始以来、過去最高を記録。レジャー需要は上昇傾向にある。

帝国データバンクは、2015 年 6 月末時点の企業概要データベース「COSMOS 2」（146 万社収録）および公開情報から、遊園地・テーマパーク経営企業のうち 2012～2014 年（1～12 月期決算）の 3 期連続で収入高が判明した 163 社を抽出して分析した。前回調査は 2014 年 7 月。

- ◇ 「遊園地・テーマパーク経営企業」とは、原則として収入高のうち遊園地・テーマパーク経営による収入が最も大きい企業。
- ◇ 主要な分析はすべて 2014 年の業績（1～12 月期決算）で行ったが、2015 年の業績が判明している企業については最新期の業績も一部掲載している。業績は単体数値で、推定値も含む。損益は当期純損益を見た。
- ◇ 前回の調査より動物園・植物園・水族館経営企業についても分析の対象とした。

調査結果（要旨）

1. 2014 年の収入高合計は前年比 9.4%増の約 9461 億 3000 万円。増収企業は 80 社で全体の約半数を占めた。
2. 163 社のうち 2 期連続で損益が判明した 103 社について分析した結果、2014 年の黒字企業は 77 社で全体の約 7 割を占めた。
3. 収入高規模別に見ると、「500 億円以上」の大規模企業は、4 社中 3 社が増収となった。構成比を見ると、収入高規模が大きくなるほど増収傾向にあることが判明した。
4. 地域別では、ハウステンボス（株）の大幅増収により「九州」が前年比 19.8%増でトップの伸び率となった。

1. 収入高比較 ～インバウンド効果で伸び率加速

2014 年の収入高合計は約 9461 億 3000 万円となり、前年比 9.4% の増加となった。

2014 年に増収となった企業は 163 社中 80 社（構成比 49.1%）となり、増収企業の割合は前年比 1.8 ポイント減少した。一方、減収となった企業は 40 社（同 24.5%）、減収企業の割合は前年比 6.8 ポイントの減少となった。

	収入高合計 (百万円)	前年比 増減率 (%)
2013年	864,575	7.9
2014年	946,130	9.4

	2013年		2014年	
	社数	構成比 (%)	社数	構成比 (%)
増収	83	50.9	80	49.1
減収	51	31.3	40	24.5
横ばい	29	17.8	43	26.4
合計	163	100.0	163	100.0

2. 損益比較 ～黒字企業が全体の約 7 割を占める

163 社のうち 2 期連続で損益が判明した 103 社について分析した結果、2014 年の黒字企業は 77 社（構成比 74.8%）で、このうち 2 期連続黒字企業は 67 社（同 65.0%）となった。

他方、2014 年の赤字企業は 26 社（構成比 25.2%）であった。

損益比較	2013年		2014年	
	社数	構成比 (%)	社数	構成比 (%)
黒字	82	79.6	77	74.8
2期連続			67	65.0
赤字	21	20.4	26	25.2
2期連続			11	10.7
合計	103	100.0	103	100.0

※2期連続で損益が判明した103社が対象

3. 収入高規模別比較 ～収入高規模が大きくなるほど増収傾向

収入高規模別に見ると、「500 億円以上」の大規模企業は、4 社中 3 社が増収となった。2014 年の構成比を見ると、収入高規模が大きくなるほど増収傾向にある一方、収入高規模の小さい

「1 億円未満」の企業は、増収、減収ともに同数（各 4 件）となった。小規模企業は総じて、大規模な設備投資や新規イベントの開催を積極的に行うことが厳しく、集客のための施策が課題となっている状況がうかがえた。

	社数	2013年						社数	2014年					
		増収	構成比 (%)	減収	構成比 (%)	横ばい	構成比 (%)		増収	構成比 (%)	減収	構成比 (%)	横ばい	構成比 (%)
500億円以上	4	3	75.0	1	25.0	0	0.0	4	3	75.0	1	25.0	0	0.0
100～500億円未満	8	6	75.0	2	25.0	0	0.0	8	6	75.0	2	25.0	0	0.0
50～100億円未満	8	4	50.0	4	50.0	0	0.0	7	5	71.4	2	28.6	0	0.0
10～50億円未満	37	24	64.9	10	27.0	3	8.1	39	24	61.5	10	25.6	5	12.8
1～10億円未満	78	37	47.4	27	34.6	14	17.9	80	38	47.5	21	26.3	21	26.3
1億円未満	28	9	32.1	7	25.0	12	42.9	25	4	16.0	4	16.0	17	68.0
合計	163	83	50.9	51	31.3	29	17.8	163	80	49.1	40	24.5	43	26.4

4. 地域別比較 ～ハウステンボスの大幅増収により「九州」が伸び率トップの+19.8%

地域別では、10 地域中 8 地域が増収。伸び率トップは「九州」で、なかでもハウステンボス（株）の大幅な増収（前年比 21.4%増）が「九州」全体の伸び率を牽引し、前年比 19.8%増加した。次いで「関東（東京除く）」が同 15.7%の増加となり、2 ケタの伸び率になったのは 2 つの地域のみ。一方、「中部」は前年比 4.2%減、「北陸」は同 2.9%の減少となった。

収入高合計トップは、（株）オリエンタルランドのある「関東（東京除く）」が約 4515 億 3000 万円（うち同社の収入高が全体の 89.1%）。次いで「東京」が約 1591 億 6600 万円となり、上記 2 地域の収入高合計は約 6106 億 9600 万円と全 10 地域の 64.5%を占めた。いずれも大都市に立地する企業の優位性が挙げられる。

地域別	2013年 収入高合計 (百万円)	2014年 収入高合計 (百万円)	前年比 増減率(%)	社数	2014年		
					増収	減収	横ばい
北海道	16,188	17,353	7.2	10	7	1	2
東北	6,787	6,894	1.6	11	6	3	2
関東(東京除く)	390,242	451,530	15.7	26	12	3	11
東京	156,984	159,166	1.4	12	7	3	2
北陸	3,030	2,943	▲ 2.9	7	2	3	2
中部	104,077	99,688	▲ 4.2	23	12	9	2
近畿	120,106	131,069	9.1	20	8	6	6
中国	7,885	8,013	1.6	12	3	3	6
四国	9,903	10,321	4.2	11	4	4	3
九州	49,373	59,153	19.8	31	19	5	7
合計	864,575	946,130	9.4	163	80	40	43

2014年主要テーマパーク(地域別)

地域	商号 ＜テーマパーク名＞	収入高 (百万円)	前年比 増減率(%)	地域	商号 ＜テーマパーク名＞	収入高 (百万円)	前年比 増減率(%)
北海道	加森観光(株) ＜ルスツリゾート＞	15,151	6.0	北陸・中部	長島観光開発(株) ＜ナガシマリゾート＞	26,526	2.0
	(株)北海道マリンパーク ＜登別マリンパークニクス＞	751	23.1		富士急行(株) ＜富士急ハイランド＞	25,538	5.5
	(株)登別伊達時代村 ＜登別伊達時代村＞	500	30.2		(株)モビリティランド ＜鈴鹿サーキット＞	25,131	2.8
東北	(公財)ふくしま海洋科学館 ＜アクアマリンふくしま＞	1,900	▲ 4.3	近畿	(株)ユー・エス・ジェイ ＜ユニバーサル・スタジオ・ジャパン＞	95,900	16.8
	仙台急行(株) ＜マリンピア松島水族館＞	1,255	5.1		(株)アワーズ ＜アドベンチャーワールド＞	6,811	▲ 4.7
	(公財)郡山市観光交流振興公社 ＜郡山カルチャーパーク＞	945	3.1		泉陽興業(株) ＜よこはまコスモワールドほか＞	6,491	2.2
関東 (東京除く)	(株)オリエンタルランド ＜東京ディズニーリゾート＞	402,506	17.9	中国・四国	(株)レオマユニティー ＜NEWレオマワールド＞	4,077	17.6
	西武鉄道(株) ※1 ＜西武園ゆうえんち、としまえん＞	21,657	▲ 7.7		(株)ファーム ＜ドイツの森クローネンベルクほか＞	3,163	▲ 1.5
	(株)横浜八景島 ＜横浜・八景島シーパラダイスほか＞	7,237	21.3		ツネインLR(株) ※2 ＜みろくの里＞	2,663	4.6
東京	(株)東京ドーム ＜東京ドームシティ＞	59,256	3.9	九州	ハウステンボス(株) ＜ハウステンボス＞	26,255	21.4
	(株)ナムコ ＜ナムコ・ナンジャタウン＞	46,585	▲ 3.0		(一財)沖縄美ら島財団 ＜沖縄美ら海水族館ほか＞	8,330	97.3
	(株)よみうりランド ＜よみうりランド＞	15,848	▲ 0.5		グリーンランドリゾート(株) ＜グリーンランド＞	4,603	▲ 6.1

※1 (株)西武ホールディングスが開示した決算短信(連結)の沿線レジャー業の収入高を引用

※2 ツネインLR(株)は、2015年1月1日にツネイン境ガ浜リゾート(株)を合併し、商号をツネインヒューマンサービス(株)から同商号に変更。

5. 2014 年収入高ランキング ～上位 2 社が全体の収入高の半数以上を占める

トップは「東京ディズニーリゾート」を運営する(株)オリエンタルランド

東京ディズニーランドでは 30 周年記念に合わせた昼のパレード「ハピネス・イズ・ヒア」や「ディズニー夏祭り」などのスペシャルイベントが人気を呼び、収入高は約 4025 億 600 万円（前年比 17.9%増）となり、独走状態であった。また 2013 年に、新アトラクション「スター・ツアーズ：ザ・アドベンチャーズ・コンティニュー」をオープン。「永遠に完成しない」テーマパークとして発展し続けている。

2 位の「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」を運営する(株)ユー・エス・ジェイは、夏季限定イベント

「ウォーター・サプライズ・パーティ」、「ワンピース・プレミア・サマー」などを開催した。多彩なイベントを絶えず投入することでリピーターを増やし、国内外から幅広く集客を図った。収入高は約 959 億円となり、前年比 16.8%の増加となった。

6 位の「ハウステンボス」を運営するハウステンボス(株)は、集客の柱となっている「王国」シリ

ーズや、「ガーデニングワールドカップフラワーショー2013 in JAPAN」、初の場外イベントとなる「大阪城 3D マッピング スーパーイルミネーション」などを開催。入場者数は 279 万 4000 人（前年比 12.8%増）、収入高は約 262 億 5500 万円（同 21.4%増）となり、前年の 9 位から 6 位に上昇した。

順位 (前年順位)	商号	テーマパーク名	本社 所在地	決算月	2014年 収入高 (百万円)	前年比 増減率 (%)	構成比 (%) ※1	2015年 収入高 (百万円) ※2	前年比 増減率 (%)
1 (1)	(株)オリエンタルランド	東京ディズニーリゾート	千葉県	3	402,506	17.9	42.5	399,234	▲ 0.8
2 (2)	(株)ユー・エス・ジェイ ※3	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	大阪府	3	95,900	16.8	10.1	138,577	44.5
3 (3)	(株)東京ドーム	東京ドームシティ	東京都	1	59,256	3.9	6.3	59,061	▲ 0.3
4 (4)	(株)ナムコ	ナムコ・ナンジャタウン	東京都	3	46,585	▲ 3.0	4.9	43,099	▲ 7.5
5 (5)	長島観光開発(株)	ナガシマリゾート	三重県	2	26,526	2.0	2.8	-	-
6 (9)	ハウステンボス(株)	ハウステンボス	長崎県	9	26,255	21.4	2.8	-	-
7 (7)	富士急行(株)	富士急ハイランド	山梨県	3	25,538	5.5	2.7	26,211	2.6
8 (6)	(株)モビリティランド	鈴鹿サーキット	三重県	3	25,131	2.8	2.7	-	-
9 (8)	西武鉄道(株) ※4	西武園ゆうえんち、としまえん	埼玉県	3	21,657	▲ 7.7	2.3	21,533	▲ 0.6
10 (10)	(株)よみうりランド	よみうりランド	東京都	3	15,848	▲ 0.5	1.7	16,188	2.1
11 (11)	加森観光(株)	ルスツリゾート	北海道	3	15,151	6.0	1.6	-	-
12 (12)	常磐興産(株) ※5	スパリゾートハワイアンズ	東京都	3	13,018	12.1	1.4	13,135	0.9
13 (14)	(公財)東京動物園協会	恩賜上野動物園ほか	東京都	3	8,617	▲ 2.7	0.9	-	-
14 (15)	(一財)沖縄美ら島財団	沖縄美ら海水族館ほか	沖縄県	3	8,330	97.3	0.9	-	-
15 (19)	(株)横浜八景島	横浜・八景島シーパラダイス	神奈川県	3	7,237	21.3	0.8	-	-
16 (16)	(株)アワーズ	アドベンチャーワールド	大阪府	5	6,811	▲ 4.7	0.7	-	-
17 (20)	(株)海遊館	海遊館	大阪府	3	6,526	17.8	0.7	-	-
18 (17)	泉陽興業(株)	よこはまコスモワールドほか	大阪府	4	6,491	2.2	0.7	-	-
19 (18)	(株)サンリオエンターテインメント	サンリオピューロランド	東京都	3	6,203	2.2	0.7	-	-
20 (-)	(株)名鉄インプレス	日本モンキーパークほか	愛知県	3	4,892	14.9	0.5	-	-

※1 2014年収入高の構成比は全163社の収入高合計に対する比率

※2 2015年収入高は判明分のみ掲載

※3 (株)ユー・エス・ジェイは2014年4月1日にHPエンターテインメント(株)に吸収合併され解散、同社は商号を(株)ユー・エス・ジェイに変更し事業を引き継いでいる

※4 (株)西武ホールディングスが開示した決算短信(連結)の沿線レジャー業の収入高を引用

※5 常磐興産(株)が開示した決算短信の観光事業部門の収入高を引用

6. まとめ

訪日外国人客の増加がテーマパーク業界の追い風となっている。日本政府観光局（JNTO）によると、2014 年の訪日外国人数は過去最高となる 1341 万 3600 人（前年比 29.4%増）を記録した。ユニバーサル・スタジオ・ジャパンは、新アトラクション「The Wizarding World of Harry Potter」がオープン、14 年度の入場者数が 1270 万人と開業初年度以来 13 年ぶりに過去最高を更新した。一部の期間で終業時間を延長することで、アジア新興国を含む国内外から幅広く集客を図り、入場チケット以外でもグッズ販売が好調で収益を押し上げた。今後、沖縄県に大規模なテーマパークの建設を目指すなど積極的に投資計画を押し進め、工夫を凝らした仕掛け作りを行っている。

また、ハウステンボス(株)の 2015 年 9 月期第 2 四半期時点の入場者数は 160 万 2000 人（前年同期比 6.7%増）、そのうち海外客数は 11 万 4000 人（同 11.5%増）であった。(株) エイチ・アイ・エスの傘下で経営再建が着実に進められ、同社と組んだ旅行商品を増やしインバウンド需要の取り込みに手を緩めない。2015 年 5 月末には 5 つ目の王国である「健康と美の王国」をプレオープン。さらに、最新の IT を駆使して省人化・省エネ運営するロボットホテル「変なホテル」の開業を予定しており、話題作りが奏功、独自性を追求している。

今後は少子高齢化が進むなか、増加傾向にある訪日外国人向けのサービス向上や、宿泊施設の拡充、交通の整備、効果的な広告や営業面などでアピールできるかが焦点となる。収入高が堅調に推移している大規模企業と、大型の設備投資や新規イベントの開催を積極的行うことができない小規模企業では集客の伸び率の差が拡大し、より一層収益格差が広がることが予想される。

（内容に関する問い合わせ先）

（株）帝国データバンク 東京支社情報部 担当：伊佐 美波

TEL:03-5919-9342 FAX:03-5919-9348

MAIL:minami.isa@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。